



一隅を照らそう
7月号

366号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



仏のありがた

住職 中島 有淳

「嘘をつく」と閻魔さんに舌を抜かれる」と私位の世代は、大抵親から言われて育ったものです。今の子供達にこう言っても、何の事もおそらく解らないことでしょう。

昔は名前でも「誠」とか「清」「真」という文字の入った名前が、多く見受けられました。

現在はどうかやって読んで良いのか戸惑う様な名前が見受けられます。そこに、ふりがながないとなんと読んでいいのか解らない難解な名前もあります。

名前は文字から受けるイメージが伝わって、多くの場合日本文化の香りが感じられたものです。

また、「嘘」の言葉の奥には仏教の五戒(不殺生・不偷盗・不邪淫・不妄語・不飲酒)の戒めが見受けられます。日常的にこうした感性が生活の中に宿っていたのです。

五戒は仏教の大切な道徳であり、現在は「道徳」という言葉も見かけなくなってしまうかもしれませんが、私の頃は学校の授業にもあったものです。現在はどのような内容なのでしょう。

昨今の「政治とカネ」の報道に接するにつけ、「恥」という言葉もあまり耳にしなくなりましした。自分の心の中に、耳を敬(そだ)てる行為が無くなったからに外なりません。そもそも心を問題にすることが減ってしまったというのは言い過ぎでしょうか。

仏教は「五戒」という道徳的部分と「六波羅蜜」(布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智慧)という実践すべき徳目があります。これらの言葉も昔はさかんに聞かれた言葉や解説で、現在では形を変えて柔らかく表現されて来ているのでしょうか。種々に進化し、工夫され発展しているということなのかもしれません。

これらの言語や、教説は仏教を知る上で大切な基本です。結局のところ、仏教の理想は「仏になる」ことです。

仏の道を疑わず、四苦八苦の教えを大切に感じながら道を少しづつでも前に進んで行きたいものです。

心さえあれば、目の見えるところ、耳の聞くところ、みなことごとく教えがあり、どこにでも教えがあると知ります。

香を焚く、花を飾る、太陽の輝き、星の瞬(またた)き、森羅万象これらいたるところに、教えはあると知ります。

仏の道を求めるには、敬虔(けいけん)に心の扉を開き、心のその奥に仏を祀り、信心の華を供え、喜びの香を捧げて、努めなければならぬと思います。

人はそれぞれ、縁によって与えられた世界で自分の物語を紡いでいくのです。

合掌

- 一心頂礼 十方法界常住仏
- 一心頂礼 十方法界常住法
- 一心頂礼 十方法界常住僧

折りふしのはな

アガパンサス
(和名 紫君子蘭)



暑い中
涼しそうな顔をして
すっくと立っている
アガパンサス
(腰痛でつい前かがみの私)
そのきれいな立ち姿に
惹きつけられます
(遊)

月例行事案内

- ◎八 日 午後二時
薬師如来祈禱会 観音経読誦
 - ◎十一日 午後二時
智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
 - ◎十八日 午後二時
観音経読誦法要(於・神木観音堂)
 - ◎二十八日 午後二時
不動明王護摩供修行
- * 毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ
- どなたさまでも
ご参詣下さい

第37回
夏休み子供止観(坐禅)会
ご案内 <無料>

恒例となりました坐禅会を下記のごとく行います。
8日間ですが、ご自由に参加下さい。
大人の方も歓迎します。
五分前迄に受付をお済ませ下さい。

記

*日 時 7月24日(水)~31日(水)
*時 間 毎朝7時より7時40分まで
*場 所 等覚院本堂にて



朝の清々しい時間です
静かな心で参詣下さい!

月例「止観(坐禅)会」…要予約
7/13(土) 9:30~10:30 (500円)

おとがめ

○東京都知事選挙が始まりました(七月七日投票)。三選を目指す小池現職と大勢の立候補者。中でも蓮舫氏の健闘に注目か。結果次第では、今後の国政にも影響必至。

○六月二十三日は「沖縄慰霊の日」。多数の住民を巻き込み、日本の敗戦から79年。その悲惨さと平和の大切さを想います。世界が二分化され、近頃は関係が尖鋭化されて来たような感じですが、気になるところです。

○サウジアラビアで、メッカへの巡礼者が陽差しが50度を超える高温で、一五〇〇人を超える死者とか。そこまで人をかりたてたエネルギーに驚きます。

○ニュースが毎日沢山報道されます。どうしても楽しい話題より暗く深刻な内容が多いようです。かくなる上は自分で身の回りを探して面白く、可笑しくなるよう工夫したいものです。

- 子(こ)や松葉の沈む手水鉢 高浜虚子
- 血をわけしものと思わず蚊の憎さ 文草
- 叩かれて昼の蚊を吐く木魚かな 夏目漱石